

園長先生の一言

翔鸞幼稚園のホームページをご覧ください。ありがとうございます。
翔鸞幼稚園は、来年度、創立 130 周年を迎えます。長い歴史の中で、保育に
かける思いは、変わらずあるのだと思います。これは、公立幼稚園の子どもの
成長発達を考えながら、人格形成の基礎になることや自立していく上での基
礎になる生活習慣を身につけていけるように保育を実践しています。

子どもに寄り添い、安心・安全な人的物的環境で、のびのびと育てていま
す。

園長になる前は、12 年間
公立小学校の校長でした。
毎年、入学する子どもの保
護者には、「平仮名は、自
分の名前が読めればよい」
「鉛筆よりも正しいお箸の
持ち方を身につけさせてほ
しい」「挨拶のできる子、
遊ぶことが大好きな子がい
い」と言ってきました。今
まで言ってきたことは間違
いないと幼稚園に来て確信
しています。



平仮名は一年生で一から
教えます。計算も同様。
鍵盤ハーモニカもそう。
英語に親しむこともそ
う。組体操は、6 年生に
なったときの感動。小学
校で新しく習うことに興
味をもって意欲につなが
る、「分かるっておもしろ
い」とみんなで共感で
きます。先々知っている
ことで学校での授業がつ
まらないものになると大
変。

就学前施設でこんなにも丁寧
に、大きな声を荒げて怒ること
なく、きちんと話を聞いて、子
どもの立場になって、また保護
者の気持ちになって育ててきた
子どもたちを小学校は引き継い
でいたのだということを改めて
知りました。

公立幼稚園は通園バスはありま
せん。徒歩か自転車で送り迎え
になります。一日に 2 回保護者
と話ができるのです。「今日、パ
ンツデビューでしたよう」「竹馬
に乗れるようになりましたよ」
「ちょっとお友達ともめてね
え」などその日の様子をお話し
できることも素晴らしいことで
す。園と家庭と一緒に育てて育
っている良さがあります。